

おおいた

かはら版

vol.50

巻頭言

会員の皆さま

「光陰矢の如し」とはよく言ったもので、気づけばもう3月…毎日が「あっ」と言う間に過ぎて行きます。時間が経つのが早くなっているように思いますが、最近では、「これが歳を重ねると言う事」なのだろうと一人で納得しております。(苦笑)

皆さんも年度末でお忙しい毎日をお送りの事と思います。

さて、平成28年度を振り返りますと、4月に発生した「熊本大分地震」はまだ記憶に新しいところだと思います。この地震での犠牲者は震災関連死を含めると204名。また被災した多くの方が、現在も仮設住宅での生活を余儀なくされています。東日本大震災から6年目の今日、被災地へ思いを馳せ、協会として、また個人として少しでもお役に立てるよう、支援を継続して行きたいとの思いを新たにしております。

熊本大分地震では、避難所での支援活動をはじめ、被災した病院からの転院受け入れ等につきまして、多数のご支援ご協力を頂き誠にありがとうございました。

この場をお借りし、改めて御礼申し上げますと共に、引き続きご支援頂きますようお願い致します。

平成28年度は診療報酬改定の年でもありました。その中でも「退院支援加算」はMSWの業務に大きな影響を与えたと感じています。本加算では、患者が安心・納得して退院ができるよう、支

援内容をこれまで以上に充実させるべく、退院支援職員の病棟配置や、面談やカンファレンス開催の厳格化、ケアマネジャとの連携実績等の施設基準が設けられた事は皆さんもご承知の通りです。

我々、MSWがこれまで行ってきた退院支援が評価されたと喜ぶ声が挙がる一方で、加算件数を上げる事を課せられる事で、関連する業務に忙殺され、本来行うべき相談支援業務に手が回らない等のジレンマを感じているという声を耳にするようになりました。

協会としまして、本加算の算定状況や算定に要する業務量及びその内容についての調査を行う必要があると考え、次年度の事業計画案に盛り込む事としております。また調査だけではなく、退院支援の現状について皆さんからの率直なご意見を直接お聞きするための意見交換会も企画する事も予定しておりますので、会員の皆さんの多数のご参加をお待ちします。

平成28年度もあと僅かとなりました。平成29年度は医療・介護報酬同時改定に向けた動きも更にスピードを増して行きます。協会としまして、会員の皆さまに改定に関する最新情報をお届けする準備を進めておりますので、こちらもご活用頂ければと思います。

新たな時代に向けて準備を進めて行きましょう。

一般社団法人

大分県医療ソーシャルワーカー協会

会長 井元 哲也

第53回九州医療ソーシャルワーカー研修会 鹿児島大会



今年の九州大会は『No Limits ソーシャルワークに限界なし』～つないでいこう人・地域・心～をテーマに鹿児島大学をメイン会場として平成28年11月26日～27日の二日間行われました。当協会からは特別講演にシンポジストとして井元会長が参加した他、高橋副会長、山本会員（大分大学医学部附属病院）、豊田会員（湯布院病院）、足立会員（別府リハビリテーション病院）による4題の発表が行われました。今回は代表して2名の方にレポートをして頂きました！

第53回九州医療ソーシャルワーカー研修会 かごしま大会参加について

大分大学医学部附属病院 総合患者支援センター
MSW 山本 琢也

鹿児島大学で行われた九州医療ソーシャルワーカー研修会かごしま大会において、昨年に続いて発表する機会を頂いたことを協会の方に感謝申し上げます。

今回は、大学院生及び現職者として参加したハワイソーシャルワークセミナーでの体験を基に、大分医療センターMSW岡江らと共に主催したフォローアップセミナーの実践報告を、現任者の教育の必要性、ネットワーク構築の視点から稚拙ながら報告させて頂きました。

この大会で実践報告をさせて頂いたことで、県外のMSWのたくさんのご意見、感想を頂く事が出来ました。九州各県の方の発表を聴きながら、ソーシャルワークのグローバル定義にも示されているような民族固有の知がそれぞれの県の方の発表にも顕れていると感じました。高橋副会長のMSW協会の調査結果分析の報告もその一つだと思います。

大会に参加し、分科会や懇親会等でさらに意見を

交わしたことで、「九州には九州のソーシャルワークがあってもいいのではないかな？」と思えるくらいに、オリジナリティ溢れた実践に果敢に挑戦しているMSWの姿をみる事が出来、とても勇気付けられました。

九州医療ソーシャルワーカー研修会は協会員の方がどんどん実践を言語化し、日本、九州独自のソーシャルワークを築いていく場としてふさわしい大会だと思います。継続して参加し、ソーシャルワークの実践を発表し、ご意見をいただくことで自身の援助を見直す機会にもなりました。

「実践をまとめて報告するというのが、ひとつのソーシャルアクションだ」と帰りの電車の中で熱く語りながら帰った同僚は、「今度は自分も発表する」と意気込んでおり、テーマを持ちながら業務に日々携わっています。私にとって、次回の長崎大会もまた楽しみの一つになっています。



◇会場にて発表を行う山本会員

2016年11月26日午前6時

関愛会 高橋 勝
夜明け前、しょっぱい三日月を眺めながら坂ノ市病院を出発。玉井（理事）、川野（事務局長）私の関愛会男3人で一路薩摩へ。いつも顔を突き合わせているので新鮮さも実のなる様な話しも何もなく、よく言えば気楽に、悪く言えば緊張感無く、東九州道を南へ車を走らせる。4時間程で会場である鹿児島大学に到着。キャンパス内を散策したり早めの昼飯をとったりして時間を潰す。昼飯、店構えを見て適当に入った定食



◇鹿児島大学

屋が非常に良かった。人気店なのか開店5分も経たずに20程の席はほぼ満員。学生街の食堂だけのメニューもボリュームがある。玉井はメインのカキフライを食べきれず残す。

午後1時：鹿児島大会開会、基調講演を少し聴いた後、自分の発表会場に移動し準備。今回は平成22年から協会あげて取り組んでいるMSW配置状況調査の過去4回分の結果を調査まとめたものを報告。細かいデータを隈なく見てほしかった為、今回はパワーポイントを用いず、紙資料で発表することに



した。実行委員の方に何度かデータ提出を求められたが、その都度今回は使わないのですよと説明すると不思議そうな顔をされた。

発表終了後、他県協会から幾つか質問を頂く。座長がとても上手な方だったこともあり気持ちよく話しができた。

午後7時：懇親会会場は南九州を代表するデパート山形屋。店内は丁度北海道物産展が開催されて

おり、整理券が配布される程の繁盛ぶりで驚いた。鹿児島県協会の方に聴くと、北海道物産展は山形屋が行うイベントの中で最も人気があり、鹿児島県人はその日程が決まると気持ちが高揚するとのこと。宴会中、福岡県協会の方から配置調査を我々もやろうと思うと声をかけて頂く。



◇懇親会会場の山形屋さん

どこかが今回の発表を聴き、同じスケールで調査を行ってくれば比較ができる。何か新しいものが導けるかもしれない、と云うのが今回私が発表した一番の目論見だったので、嬉しい反応に手応えを感じる。

この懇親会の場で明石二郎氏(2日目の講師)、松尾副会長、私の同い年3人が珍しく揃う。



この2人には随分刺激を受けた。駆け出しの

◇スリーショット！

頃から早いものでもう20年。光陰矢の如し。程良く酔い、宿へ。話しの種にゲストハウスに泊ってみた。案外快適。しかし周りバックパッカーらしき若者ばかり。おっさんは場違いか。

11月26日：大雨。折角桜島が見える宿にしたのに視界不良。残念。午前、災害をテーマとしたシンポジウム、井元会長の講演を聴きながら桜が散ったばかりの、去年のあの日のことを思い出す・・・

・・・400字の枠なのにこの時点ですでに900字。残念ですが2日目のレポートは端折ります苦笑。鹿児島県協会の皆さん、運営お疲れ様でした。ありがとうございました。

九州大会、久しぶりに参加させてもらいましたが、お国に帰った様な気持ちになりました。良いものですね。



研 修 報 告

12/11 第2回面接技法ワークショップ『事例を通しての面接のふりかえり』

講師：臼杵市教育委員会スクールソーシャルワーカー 野上美智子先生

12/18 初任者フォローアップ研修『MSW の実践を読み解く』

講師：別府大学文学部人間関係学科教授 林真帆先生

2/19 スーパーバイザーフォローアップ研修

『若年層世代に対しての人材育成とメンタルヘルスについて』

講師：大分大学医学・病院事務部総務課安全衛生係 保健師／衛生工学衛生管理者 江口美和先生



林先生による研修風景

理 事 動 向

10/15 後藤学園祝賀会→高橋副会長

10/18 医師が参加する地域ケア会議別府開催→井元会長、

10/19 医師が参加する地域ケア会議日田開催→松尾副会長

11/5 「センターまつり&元気フェア」→小城理事

11/13 病院学会→高橋副会長

11/17 医師が参加する地域ケア会議→井元会長

11/18 医師が参加する地域ケア会議→松尾副会長

11/19 第2回多職種連携研修会（大分市介護支援専門員協会）→高橋副会長、川野事務局長

11/22 第4回大分県地域リハビリテーション研究会運営部会→松尾副会長

11/26 第14回大分県社会福祉セミナーシンポジスト→中村理事

11/26 九州ソーシャルワーカー協議会・研修部会→井元会長、松尾副会長

12/7 佐伯市高齢者にやさしい地域づくり協議会→山本理事

12/13 中津市在宅医療・介護連携推進会議→井元会長

12/15 医師が参加する地域ケア会議 in 別府→井元会長

12/16 医師が参加する地域ケア会議 in 日田→松尾副会長

12/15 大分市難病患者地域支援ネットワーク推進協議会→徳丸理事

1/12 大分県及び大分市慢性疾患児童等地域支援協議会→山本理事

1/19 医師が参加する地域ケア会議→井元理事

1/19 大分県保健医療団体協議会→小城理事

2/9 出口支援に係わる地域連携のための合同支援会議 / 大分刑務所→井元会長、脇坂会員



NEW FACE (2月末現在の会員数 276 名)

村本 有希 ムラモト ユウキ 大分東部病院

藤原 なぎさ フジワラ ナギサ 別府市社会福祉協議会

高田 恵 タカタ メグミ 大分大学医学部附属病院

久保田 貴幸 クボタ タカユキ 畑病院

管 千春 カン チハル 大分県立病院

